



市政を聞く 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

6月定例会の一般質問は、15日、16日の両日行われ、7名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。



風呂 繁昭
議員

問① 地方交付税増額分3億5,000万円をどう使うのか。

答 市税不足1億1,000万円補てん、体育施設の大規模改修や学校統合による小学校建設のための教育施設整備基金や火葬場建設等の環境施設整備基金への積み立てを図る。

問② 県下一高介護保険料、H24年改正は。

答 H21年度見込み余剰金3,000万円、認定者は1,544人、17.3%で計画範囲内である。

問③ 公共下水道使用料金改正について。

答 H23年度水道料金改定で準備を進めている。

問④ 小学校建設計画について、東部地区は。

答 H29年、H30年2ヵ年かけて建設計画。

問⑤ 同報系デジタル防災無線整備計画について。

答 支援メニューを研究し早期整備に取り組む。

問⑥ 公共事業等地元発注の商工会議所陳情書は。

答 施策への要望等の意向調査は今後検討する。公共工事の発注や用度品の調達は地元業者を優先に選考する。

問⑦ 観光誘客のため市民の間でトップレベルのアーティストを呼び、小浜の情報発信の計画をされているが。

答 取り組みについて観光局に働きかける。



下中 雅之
議員

問① 快速鉄道の基金積立は、嶺南市町と県の合計が昨年度末で約51億4,000万円に達しているが、いつまで積み立てるのか、用途を伺う。

答 今年度末には嶺南市町と県の積立額も合計で約56億3,000万円になる予定である。今後も国の補助制度の適用等を見極め、実現に向けた一定の方針が整うまで、引き続き積み立てを継続していくことが大事であると考えている。

問② 若狭地区の総合産業高校設置案について、なるべく多くの人たちから意見を聞く場を

設けられないか。

答 市、市議会等が、高校再編問題について、同じ認識のもとで何らかのアクションを起こそうということになれば、市教育委員会としても取り組ませていただきたい。

問③ 高校再編問題に対する教育長の考えを伺う。

答 民意を汲み取るために何らかの手立てをせよということであれば、市教育委員会としては、中学校の進路指導の教師の考え方、また進学を控えた保護者の考え方等を聞く場を設定することは可能である。



佐久間 博
議員

問① 小浜市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について。

答 つばき回廊商業棟跡地の整備などの新規事業のほか、空き店舗対策など既存事業を組み合わせ、歩行者通行量と観光交流人口の目標数値達成を目指す。

問② 国の認定に必要な核事業となる民間事業者による開発事業の検討の考えは。

答 さまざまな主体による事業展開や補助事業となる核事業の創出が国の認定につながる。

問③ 市制60周年の取り組みはどのようにするか。

答 若手中心の7名の市民と市職員とで「市制施行60周年記念事業検討会」でテーマなどを協議し、来年は実行委員会で開催したい。

問④ 小中学校の不登校の現状と取り組みは。

答 嶺北に比べ嶺南の中学校の不登校率が高い。担任の先生、教育相談担当教員など学校あげて保護者と連携を密に対応している。

問⑤ 不登校への教育委員会としての取り組みは。

答 一人ひとりの居場所がある学校づくりを目指し、児童生徒と教員の信頼関係を構築できるよう、できることはやっていくつもりだ。



宮崎 治宇蔵
議員

問① 国民健康保険事業について。
答 加入世帯数は、4,624世帯。資格証明書の取扱いについては、滞納者への個別訪問により、実情の把握に努め、相談窓口の周知を図り、相談の機会を十分に確保していく。

問② ふくい若者サポートステーションについて。
答 9月16日に小浜市勤労福祉会館において、市内では初めての出張相談会を開催する。

問③ 鳥獣害防止対策について。
答 小浜市としては対策を充実していくことは必要不可欠と考えている。今後とも、国・県・市・集落が一体と

なって鳥獣害被害防止に取り組めるよう、予算の拡充および事業期間の延長を要望してまいりたい。

問④ 県立高校の再編問題について。
答 民意を聞けということであれば、中学校の進路指導の先生、保護者の声を聞くことができるのではないかと考えている。

問⑤ 北川下流の治水対策について。
答 雑木の伐採、国に対し強く要望していく。

問⑥ 江古川の浚渫について。
答 過去の災害を踏まえ河川の浚渫は重要と考えており、県に強く要望していく。



能登 恵子
議員

問① 「障害→障がい」表記見直し。
答 国の機関においても検討中、小浜市第5次総合計画に採用する。法令は無理だが、出来るところから取組む。

問② 小浜市印鑑条例について。
答 年間1,000件の登録申請中60件は代理。保証人と代理人を別にして、本人の意思確認の正確性と不正使用の防止対策を検討。代理人による印鑑証書交付には、本人以外の者への発行制限や登録制もある。弱者の財産を守るため、市長の調査権も設ける。

問③ H22年小浜市水道ビジョンから。
答 水質汚染や塩害はまだ起こっていない。湯岡水源はH19年より夏になると水量限度の赤ランプが頻雑に点滅し、水源の枯渇を危惧している。河内川ダム建設と浄水場施設建設後、住民負担は今の2.5倍の水道料金となると想定。社会資本であるが市民負担が増加しないよう、有利な補助金の模索や、より一層のコスト縮減を図り、公共料金の適正なあり方を検討していきたい。小浜市水道ビジョンに多くの市民の意見をいただきたい。



三木 尚
議員

問① 平成30年に上水道料金が2.5倍に跳ね上がる計画だが市民は了解するか。
答 長期的な収支を見据え適正水準を見極めたい。

問② 中心市街地活性化計画は国の認定を受けても6割は地元負担となる。肝心の受け皿が確立していない中で形だけ進めてよいのか。
答 基本的に市の負担は生じない。

問③ 入札や物品購入で地元業者を優先すべき。
答 H21で約84%が地元へ発注している。

問④ 新幹線運動今こそ若狭ルート日本海国土軸を主張すべき。

答 嶺南自治体と連携を図り取り組みたい。

問⑤ 一昨年の総選挙で自民党は福井県を北陸道が中部道に入れるとしたが、道州制に対する市長の考えは。
答 本市は関西圏とのつながりが深いとの認識を示してきた。

問⑥ 農業振興地域の指定解除、実情に合わせていくべき。
答 関係機関の意見を十分に聞き検討したい。

問⑦ 誇りを育成するため郷土の歴史偉人等の学習を取り入れるべき。寺社仏閣への清掃奉仕は。
答 既に取り入れ実践している。

⑧ 小学校から武道を取り入れては。
答 各校長の判断に任せたい。



松崎 圭一郎
議員

問① 観光局の組織体制について、観光局が創設された矢先に民間の旅行業者から派遣された当該事務局職員の好ましくないと思える発言があったが、ご当局はどのように考えるのか。
答 滞在型観光を目指し取り組んでいるときに、観光に携わる専門家であり、事務局である者が後ろ向きとも思われる発言をしたことは、誠に遺憾である。

問② ペット関連条例等の制定について、全国的にペットの糞害や霊園設置でさまざまなト

ラブルを聞くが、それらを規制する条例は、きな臭くなってからのものが多く、既に施行されたもの等には適用されないのが常套である。当局はどのように考えるか。

答 現在のところ、これらに関する条例を制定する予定はない。

問③ 特定失踪者問題対策の行方について、菅直人総理と千葉法務大臣は、テロリスト、シン・ガンスの釈放に署名をした政治家であるが、どう思われるか。
答 中井大臣が継続担当、真相究明を期待する。

携帯電話から議会ホームページがアクセスできます。

次回の議会日程や一般質問通告一覧など、パソコンでなくても議会情報を見ることができるようになりました。

載せてほしいという情報がありましたらお気軽にご意見をお寄せください。



URL はここから →

ケータイで
議会情報をGet!!

